

2023.10.1 ピアサポートの感想

ピアサポートのもつ力や意義を感じる機会になりました。

みんなが自分のことのように悩み考える場が、支援する側が支援されるこの時間がとても有意義なことのように感じました。

子どもたちに何か教えようとしないうにとメンターさんに伝えているミミラボさんについて、アスぺの会・エルデの会の方針と似ていると思いました。

現代の子どもたちは私たちの時代のようなボーツとしている時間がないが、不登校の子は、あり余った時間で何かを見つけてほしい見つけられたらいいな、その手助けができればいいなと思います。

大人の押しつけにならないように気をつけながら。

本日初参加させて頂きましたが、様々な年齢、職業の方が具体的な経験と実感を元にお話をしてくださり、良い経験になりました。

初めて参加させて頂き、様々なお話が聞けてよかったです。

障害を持つ子どもさんとその親の方のお話が、もっと聞きたかったです。

支援は形を作るのですが、一つの形が万能ではなく、形を作るよりも大切なことがあると思います。

溝渕さんのお話で、子どもは話したがっているとありましたが、子どもが本当に話したいことを話せる、子供の本当の声が聴ける、そんな関係ができることを大切にしていきたいと思います。

学校の状況は厳しい…危機的だと感じています。

でも、学校でも、家庭でも第3の場所でも、あなたはあなたでなるほどね！いいね！と感じさせてくれる人がいてくれることが大切だと思います。

学校に、ひとりでもそんな大人がいてくれたらいいな、と日々、細々と学校の先生方をお願いしようと思います。

色々な立場や年代の方のお話が聞けて良かったです。

多感な中学期の子達、難しさをもつ子達がこの時期をどう過ごしていくのか？

考えさせられましたが、その時期だけでなく、その後はどうつながっていくのが大切だと改めて思いました。

今から迎える中学時代の、心づもりができたので、参加して良かった。

今の中学生をとりまく環境、今の中学校の先生方の状況、家庭・学校以外の場と、そこに集まる子の様子など、たくさん知れて良かった。今日の情報を、小6の我が子にも還元したい！

中学校に通う子の親としての気持ちや目線と、学校側の実情、先生方の大変さも、いろんな側からのお話がきけてよかったです。

今の時代の子どもたちの様子のお話も聞けたこともよかったです。

ありがとうございました。

様々なケースを知って、中学時代の難しさ、学校との連携の難しさを感じました。

親が先生に関わってほしい所に関わってもらえない もやもや感があるし、第三者が入ることによって、その辺りがスムーズに行く場合もあることも知りました。

中学校の先生の仕事の大変さも感じました。

他の国では特別支援を4年間勉強した人がその職についているのに、日本では全く勉強してない先生に回ってきたりするのを変えていかないといけない。発達障害の本人さんの話も聞けてよかった。ミミラボの話もとても可能性を感じた。

本日はたくさんのお話を聞かせていただき、参加して良かったなと思いました。

又の機会ございましたら参加させていただきたいなと思います。